

理科

国語科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
・自然の事物、現象に理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などの基本的な技能を身に付けること。	・観察、実験から得た結果から、課題を見付けだし、探求する力を付けること。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 観察・実験に必要な技能は身に付いているが、考察するための知識が伴っていない。ア 観察・実験の結果を基に、結果はまとめることができるが、課題を見い出せない。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 観察・実験の前後に、関係事象の説明確認をする。また、その際、復習動画もロイロノートで配信する。ア 結果を図やフローチャートを使って整理し、そこから課題を見付けられるようにする。イ 	2学期から実施。ア 2学期から実施イ	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 実験の基本的な技能は身に付けているが、指示薬の変化が示す結果を理解するための知識が身に付いていない。ア 結果を整理することはできるが、結果が示す科学的根拠につなげる考察力が十分ではない。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察の結果を各自で撮った写真とともにまとめさせることで、指示薬の変化を視覚的に理解させる。ア 実験のまとめを、ロイロノートを活用し、全体で共有・比較することによって、多角的・多面的な考えを共有させる。イ 	2学期から実施。ア 2学期から実施イ	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な技能は身に付けているが、それを活用することができない。ア 結果を整理することはできるが、多角的に考察する力に欠ける。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ロイロノートや Google Forms でのテスト機能を使い反復練習ができるようにする。ア フローチャートやまとめプリントを活用し、可視化する。イ 	2学期から実施ア 2学期から実施イ	

<p>■「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</p> <p>1年 ロイロノートの提出箱を使った意見・情報共有 Google Slides を活用したプレゼンテーション活動</p> <p>2年 ロイロノートの提出箱を使った意見・情報共有</p> <p>3年 ロイロノートの提出箱を使った意見・情報共有</p>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p> <p>1年 復習動画の配信 テスト機能を使った振り返り</p> <p>2年 ロイロノートや振り返りシートを活用した考えの共有</p> <p>3年 ルーブリックの活用 復習動画の配信 ロイロノートや振り返りシートを活用した考えの共有</p>
--	---